

結果の概要

～平成26年3月分～

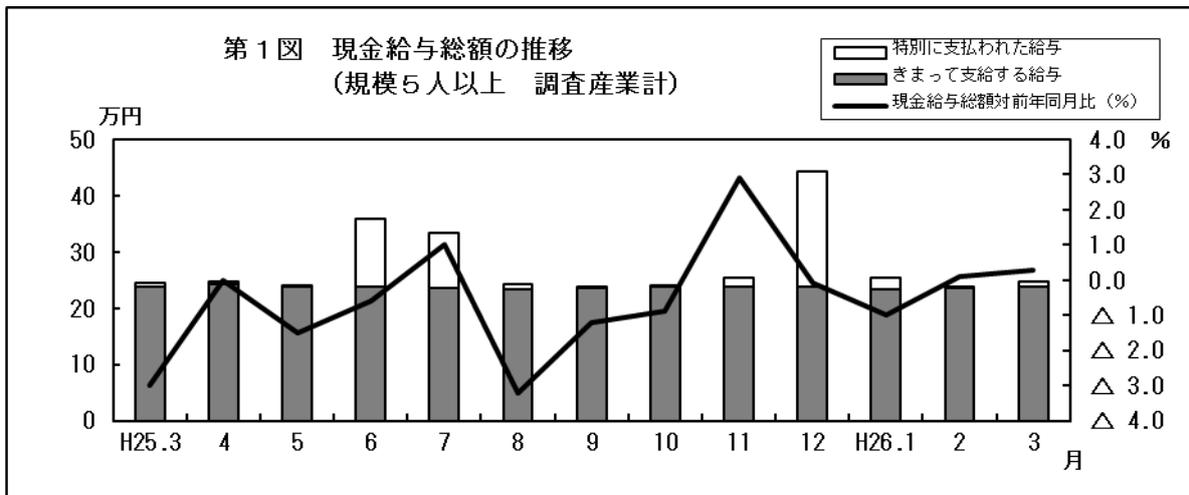
1 賃金の動き

3月分の調査産業計の1人当たりの月間現金給与総額は、246,385円となり、その指数は対前年同月比0.3%増（規模30人以上では、268,099円、0.5%増）となった。（第1図、第1・2表）

また、きまって支給する給与（定期給与）は、237,405円、対前年同月比は0.2%減（規模30人以上では、257,772円、0.1%減）であった。（第1・2表）

きまって支給する給与のうち所定内給与は、219,690円、対前年同月比は0.8%減（規模30人以上では、236,853円、0.7%減）であった。（第1・2表）

就業形態別にみると、一般労働者の現金給与総額は、344,106円（規模30人以上では、357,720円）、パートタイム労働者は、91,476円（規模30人以上では、103,278円）であった。（表20・21表）



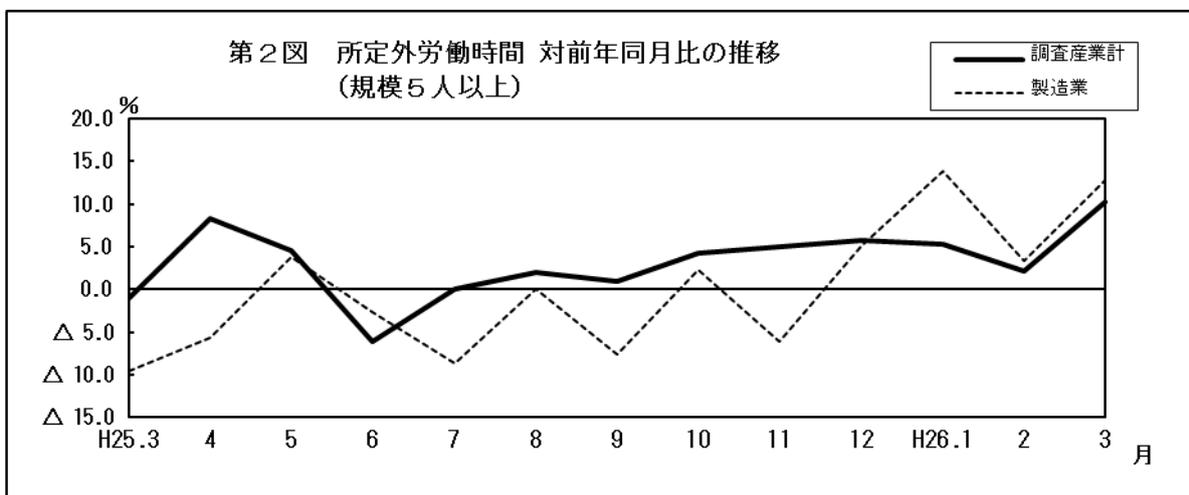
2 労働時間の動き

3月分の調査産業計の月間総実労働時間は、135.8時間、対前年同月比は0.1%増（規模30人以上では、139.2時間、0.6%減）となった。（第1・2表）

また、所定外労働時間は、10.7時間、対前年同月比は10.3%増（規模30人以上では、11.8時間、4.4%増）であった。（第2図、第1・2表）

製造業の所定外労働時間は、15.9時間、12.8%増（規模30人以上では、16.3時間、15.6%増）であった。（第2図、第1・2表）

就業形態別にみると、一般労働者の総実労働時間は、167.5時間（規模30人以上では、163.8時間）、パートタイム労働者は、85.7時間（規模30人以上では、94.1時間）であった。（表20・21表）



3 雇用の動き

3月分の調査産業計の推計常用労働者数は、規模5人以上で2,018,556人、対前年同月比は0.4%増（規模30人以上では、1,153,906人、0.2%増）となった。製造業では386,906人、対前年同月比は0.3%増加（規模30人以上では、274,138人、0.4%減）であった。（第3図、第1・2表）

就業形態別にみると、一般労働者数は、1,237,999人（規模30人以上では、747,867人）、パートタイム労働者数は、780,557人（規模30人以上では、406,039人）となり、常用労働者中のパートタイム労働者の比率は、調査産業計で38.7%（規模30人以上では、35.2%）であった。（第1・2・20・21表）

